

広報かわにし

場町役所 吉作社 川西町 中村幸風 川西町 金子南 川西町 金子南 川西町 金子南 川西町 金子南

発行所	川西町役所	場町	吉作社
発行人	川西町 中村幸風	川西町	金子南
編集人	川西町 金子南	川西町	金子南
印刷所	川西町 金子南	川西町	金子南
定価	100円	100円	100円
人口	7,754	7,754	7,754
男女計	4,488	4,488	4,488
世帯数	1,276	1,276	1,276

すでに二億七千万円 実現した課税の夢

町のドル箱国鉄資産税

千手発電所が創立されて二十周年にあたる。正しい名称で呼ぶならば、日本国鉄有鉄道東京給電管理事務所千手発電所。それは、国鉄が東京を中心とした関東一円の電力供給源として重視するばかりでなく、固定資産税の大口財源として町の進進に切り離すことのできない存在といえるだろう。

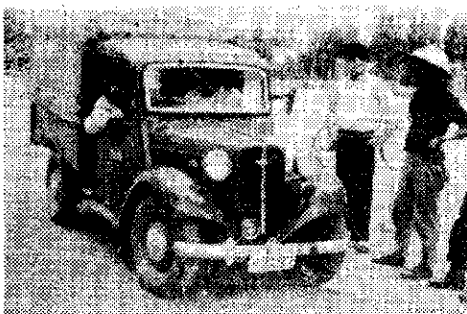
そこで、課税実現のいきさつを中心に、税収面のあしあとをふりかえってみよう。

話は九年前にさかのぼる。シャープ勧告(昭和二十五年)にもとづいて、わが国では税制の大改革が行なわれた。従来の土地、家屋税に償却資産(機械装置や水路隣道など)が加えられて、新しく固定資産税が生まれたのである。この改革によって一般会社の償却資産は課税の対象となり、外丸村の日発や秋成村の東電をはじめ、民間発電所の所在町村には多額な金

が入ることになった。このとき、「国鉄なるがゆえに課税されない」という不合理をついてたちあがったのが千手町だ。中村町長(現川西町長)や議会が中心となり、小千谷町などと協力して猛運動を展開した。この結果、国鉄に課税することなど思いもよらなかったのにその夢が実現して、昭和二十八年年度から税収が得られるようになったのである。きわめて困難なこの運動がみごとに実を結んだカギには、関係者のたいへんな苦労があったことを忘れてはならない。

現在、千手発電所の建物は四億九千万円に評価されている。町全体の家屋の課税標準額は二億八千万円だから、発電所が全体の六割以上を占めているわけだ。

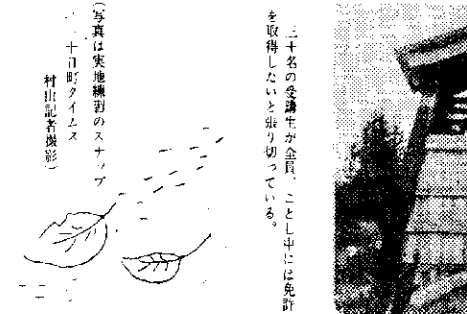
合併前の関係町村分を合算すると、七年間で町に入った金は二億六千九百七十七万円。大規模償却資産、非木造家屋(発電所)、納付金、その他の土地家屋など、年度別収入合計額は次のとおりである(小千谷発電所の関係分も含む) 昭和二十八年 四五・二四千万



「栄橋」に決まる 開発さんが入選

信濃川にかけられる橋の名が、

昭和二十九年 三六・五二千万円
昭和三十年 二九・三八七千万円
昭和三十一年 二五・二〇五千万円
昭和三十三年 四五・九三八千万円
昭和三四年 四四・一七〇千万円
昭和三五年 四二・七四四千万円
合計 二六九・一七〇千万円



赤谷のサイレン

赤谷のサイレンは大きな音でうなる。昭和十六年の春、部落出身の成功者が寄贈してくれたものだ。

あれから二十年……。人の世のへんせんをよそに、雨の日も風の日も時を知らせている。ところが、このサイレンもくたびれてきたという。いま部落ではどうしたらよいかを協議中だ。さてそこで、このサイレンは赤谷だけのものではないことを強調したい。ハラの虫がグーというところ、仙田の里にオヒルを伝えてくれるからだ。火事や災難があるといちはやく知らせるべく手入れをして、これから元気なうなり声をきかせてほしいものだ。

(写真：赤谷のサイレン 撮影：小川広一)

町づくり

出かせぎと生活文化

出かせぎのシーズンに入った。忙しい農作業が終わると休む間もなく、七百人に近い人たちが町を離れてゆく。心から「さようざん」と申しあげたい。

▲ことし初旅の人もある。はじめての旅はだれもがうら悲しいものだ。たそがれて上野の山が見えるころは喜びと不安が入り交じる。しかしもつとつらいつきは仕事に入ってからのごときにはたまらなく涙をさそうこともある。「かわいの子に旅をさせる」といわれるのは、つとめが人間形成の面には大きな役割を果たすからだ。他人

のメシを食ってみるとはいい。何よりも心配なのは交通事故だ。町からの出かせぎ者で、まいとし数人の死傷者が出ていることをぞろぞろか。九百万の人波をぬって無数の車がひしめき合い、ワキ見すらできない現状ではちよつと不注意でも命を失う。よくよく気をつけてもらわねばならぬ。

▲えてして人間は環境に左右される。とくに若い人は都会の騒々う浮薄な風潮にかたれて、悪い面ばかりを吸収するきらいがある。環境の激変から誘惑に負けてしまったり、転落の道をたどって家族をなげかせたりして、あたらしい生を棒にふる青少年少女にならないでほしい。

▲冬働きとはいっても、最愛の妻や子を残して旅立つのはたいへんなことだ。それなのに心の底には安外よからぬ虫がひそんでいるかもしれない。「一里はなれりや何とかだ」からとて、都の花にあてがれてもらうては困る。

▲来年度のグループ学習が、出かせぎ帰りの青年たちを待つわけだ。旅先でも、環境や目的の共通する人とは気が合うだろうから、ときときは町づくりの情報交換をして話し合い、良い面をできるだけ多く学んでくれることをねがう。

▲「山の中とはいへ常識に富み文化面への欲求が盛んだ」と、遠来の客が驚くのは、出かせぎ者のもたらす生活文化に、あずかっていることを見のがすわけにゆかぬ。待ちわびて冬に耐えるわたしたちに、春のいぶきを注いでくれるのはあなたの方。どうかお大事にいらして下さい。

発車オーライ

「下、橋の青年学級に、自動車が生まれたのはことしの春田中三郎君を講師に、毎週一回講義と交通法規を学んできた。生徒のみなさんの努力で、早くも実習場に上がったが、練習用の自動車は町長先生(金谷鉄上)が提供してくれた。」

栄橋(さかえばし)に決まった。期成同盟会ではさきに橋の名を募集したが、百五十人から九千三百の橋の名案が集まった。第一次審査で六名が選ばれ、これをさらに県が審査したところ北村知事が、「平凡ながら、今後の土地の飛躍を象徴する栄橋がよからう。」というので栄橋に決まったもの。

入選、佳作ともに受賞者は次のとおりだが、応募者二名以上の橋名は抽せんを決めた。

☆入選 (賞金三千元)
栄橋 十日町市上新田 開発とし

☆佳作 (賞金二百円ずつ)
◎要有橋 米山 勝(十日町) ◎要有大橋 斎藤寿美翁(永久公舎西) ◎魚沼大橋 登坂 茂(岩瀬) ◎協和橋 斎木みよし(十日町) ◎新大橋 俵山貞義(十日町)

町づくり

出かせぎと生活文化

出かせぎのシーズンに入った。忙しい農作業が終わると休む間もなく、七百人に近い人たちが町を離れてゆく。心から「さようざん」と申しあげたい。

▲ことし初旅の人もある。はじめての旅はだれもがうら悲しいものだ。たそがれて上野の山が見えるころは喜びと不安が入り交じる。しかしもつとつらいつきは仕事に入ってからのごときにはたまらなく涙をさそうこともある。「かわいの子に旅をさせる」といわれるのは、つとめが人間形成の面には大きな役割を果たすからだ。他人

町議会報告

累計一億(一般)に迫る

追加更正五件を議決

議長以下の役員改選後初の臨時町議会が九月三十日に招集されたこの日の主な議案としては、本年度第一回目の追加更正予算、一般、特別会計あわせて五件が議決された。そのうち、国保と千手橋面診療所の特別会計については給与の改訂その他に伴って才出の一部を更正しただけで、総額には全然変わりがない。また、新農山漁村建設特別会計予算については事業主体に交付する県費補助金を受け入れた、いわゆるトンネル予算であつて、直接町財政には影響しないので、結局一般会計の九百八十六万六千六百六十六円が、今回の追加額として実質的な審議の対象になつたわけである。

災害復旧に

三百四十万

一般会計の追加更正額は、合計一千七百七十一万四千九百九十九円、これに見合う財源九百八十六万六千六百六十六円との差額百八十五万五千三百三十三円は、備費から充用された。

才出の主な内訳は、産業経済費二百四十三万三千三百三十三円、土木費百九十九万七千七百七十七円、消防費百一十一万九千九百九十九円、保健衛生費五十一万九千九百九十九円、社会及び労働施設費二十二万二千二百二十二円等のほか、諸支出金四百八十八万八千八百八十八円という大口支出があるが、そのうち三百六十六万六千六百六十六円は過年度支出として、前年度予算から支出すべきであつたもので、実質的には追加額とはいえないものである。その内訳は千手橋協有線放送補助五十万、小根岸電話架設補助四十二万九千九百九十九円、望島橋架け替え負担金百七万、

以上の結果、才入才出ともその累計は九千八百八十一万一千四百六十円となり、一般会計だけで一億円の大台にあつたと一息という数字となつた。

田中(与)議員

表彰さる

去る七月十日、新潟市、日報ホーテルで行なわれた第十一回新潟県町村議会議長会総会において、中魚沼郡からは当町の田中(与)三郎議員(山野田)が、ただひとりの自治功労者として会長から表彰状を贈られた。

田中議員は旧千手町当時から連続十二年間議員として町政に力を尽くし、現在総務文教委員長の職にある。

国保・診療所

運営委員 きまると

九月二十七日に任期満了となつた千手・橋面診療所の運営委員として、次のとおり選任することに同意した。

- ◎千手診療所
 - △議員◎平野圭二(留任) ◎小海八太郎(留任) ◎丸山宗太郎(留任) ◎田村才一郎(新)
- △一般の高橋吉太郎◎中島久助◎関口重作(いずれも留任)
- ◎橋診療所
 - △議員◎黒島豊二(留任) ◎沢口由蔵(新) ◎滋野一郎(留任) ◎田中金造(留任)

△一般◎羽鳥朝市◎田中淡治◎藤原英策(いずれも留任)

なお、国保運営協議会委員は法改正により、議会の同意を要しないこととなつたが、町長において次のとおり選任した旨報告された

- ◎国保運営協議会委員
 - △被保険者代表◎清水周平◎渡貫軍治◎大久保武義◎小林長一(いずれも留任)
 - △医師代表◎登坂祿蔵(留任) ◎藤巻力雄(留任) ◎森永健市(留任) ◎名島正太郎(新)
 - △公益代表(議員) ◎数藤奥治郎(新) ◎馬場下禰(新) ◎須藤亮助(留任) ◎南雲章(留任)

自転車の登録

本月中に実施

自転車の廃止で鑑札の制度がなくなり、自転車の盗難、紛失に捜査や発見が困難となりました。また、発見されたとしても所有者を特定しづらく、盗みやすいため、心理的な面でも盗みやすいため、与えています。

そこで、町では次の日程により自転車の一せいの登録を実施することになりました。この登録は、①町内にある自転車の所有者、車体番号、特徴、などを登録して、いつでも正しい所有者がわかるようにする。②盗難を予防し、紛失や被害のとき所有者の手もとに早く返すようにする。③売買や入質などの場合に登録の証明をつける。ということが目的です。自転車を所有される方は、自転

車と手数料二十円を持参し必ず登録を受けてください。時間は午前九時から午後五時までです。

登録しなかつた人は、防犯登録取扱店(町内ほとんどの自転車店)で登録することになります。(庶務係・川西巡査部長派出所)

登録の日程

- (カソコ内は実施の区域)
- 二〇日 橋支所前 (橋の全部)
- 二一日 上野支所 (上野全部)
- 二二日 仙田支所前
- (中仙田・田戸・越ヶ沢)
- 二三日 農協室島支所前 (至島)
- 高倉・小脇・鷺合・藤沢
- 二四日 赤岩校庭 (赤谷・岩瀬)
- 大倉・大白倉・小白倉
- 二五日 役場前 (木島・高原田)
- 沖立・伊友・坪山・霜条・鶴吉
- 二七日 役場前 (二十五日を除いた千手地区の全部)

町の掲示板

◎七月災害で流失した仁田橋が六日にしゅん工した。県道の本工事にもなつて、回路が完成したわけ。本工事の起工は十一月中旬交通量が減つてから行なわれる。

◎固定資産(田)評価調査(五日から十一月中旬まで)のため、税務係の男子職員が町内で実地調査にあたつてゐる。期間中は業務に支障のないよう、番が残る。◎清水光子さん(出納係)が、九月三十日付で退職した。猪俣代議士の招きにより、東京の同氏邸で勤めることになったもの。後任として数藤洋子さん(沖立・十高卒)が、臨時職員に採用された。

戸籍の窓から

(九月分)

うぶ声―御すこやかに

- ◎星名博文(金一長男) 沖立◎小林玲子(初一長女) 中屋敷◎大井一男(喜一郎長男) 木島◎高橋豊美(實三長女) 仁田◎森永ゆみ(健市長女) 仁田◎水落豊蔵(豊一長男) 仁田◎高橋恵子(喜作三女) 仁田◎丸山康彦(欽一郎長男)
- ◎原田◎小柳清美(博三女) 元町◎田中一美(務二女) 小白倉◎茂野宏之(倉之助二男) 藤沢◎桑原京子(金二長女) 桐山◎樋口絹子(國永長女) 中仙田◎佐藤伸幸(良平二男) 藤沢◎茂野宏子(廣治二女) 藤沢◎佐藤行夫(長雄二男) 中仙田◎中條浩(眞吾四男) 岩瀬

たかさご―御円満に

- ◎桑原朝二(新町) 星名トシエ(伊友から) ◎小林房子(中央町) 小林欣造(藤沢から) ◎山甲治(仁田) 押木利子(元町から) ◎戸田斯文(仁田) 星名ノブ(伊友から)

昇天―御めい福を祈る

- ◎高橋クメ(六〇) 高原田◎大久保まり子(二) 野口◎須藤キク(八三) 原田◎小川マサ(七〇) 下平新田◎板場政治(四一) 上野◎田中ヨシノ(五二) 小白倉◎中條幸蔵(七六) 大倉◎登坂トトリ(六九) 赤谷◎田村菊治(七五) 室島◎齋木熊太郎(七五) 小脇◎小川作平(七六) 岩瀬◎樋口絹子(一) 中仙田

★通常貯金 いつでも預け入れや払いもどしができ便利で有利な、みなさんの金庫がわりとして親しまれてます。

★積立貯金 毎月、お宅やおつとめ先へ集金に伺うので非常に便利だと評判です。そのうえ集金による貯金としては、たいへん利回りの高い貯金です。利率 年四分二厘

九月一日から十二月三十一日まで

毎年、利子だけを受け取ることで、利子分割払式定期貯金もありません。利率 二年をこえるとき 年六分、年六ヶ月 年五分五厘、年五分、年四分五厘、十八万円になります。

橋中に自動車を寄贈

東京の丸山伴四郎氏が

橋中学校(杵淵新治郎校長)に自動三輪車が贈られ、本月中旬はるばる東京から学校入りをする木暮出身の丸山伴四郎氏が、「子弟の教育に役立ててほしい」と寄贈してくれたものである。

丸山氏は、東京でタクシードライバーを持つ神和交通(本社は足立区)の常務取締役だが、ほかに自動車練習所(荒川区)も経営するといった成功者。これまでも学校建築やピアノ購入など、ことあるごとに大口寄附してくれた篤志家で知られている。

話のおきたきっかけは、運転免許を習得のため丸山氏を頼って上京する村の若い衆に、氏が日ごろから心を動かされていたこと、

橋中学校の改訂で産業技術面の教育を痛感した学校側が、幼少から同氏と親交のある山家誠二氏(木暮)を通じて、「自動車ほしい」と訴えたことからだった。

子弟の教育に専心

杵淵校長はよろこびの表情を包みきれず、その感想を次のように語ってくれた。

こんなうれしいことはありません。こんご実習教材として十分に活用するため、技術家庭科の男子向き機械面の課目を中心に、いま、指導のカリキュラム(教科課程)を研究中です。

丸山さんのご厚意に答えるよう、全職員が一丸となって、子弟の教育に専心することを誓っています。

仙田小にテレビ

増田さんが寄贈

仙田小学校(加藤越郎校長)に十七インチの教育用テレビが寄贈された。贈り主は、素封家として知られる室島の増田克治さんだ。

増田さんは、以前から教えきれないほどの多額の金品を寄贈され、旧仙田をはじめ、同校の教育上に著しく貢献されている人である。

加藤校長の話

懸案のテレビが、増田さんのご

★定期貯金 まとまったお金をお預けになるには、もつとも有利な貯金です。六ヶ月たてばいつでも払いもどせます。六ヶ月以後は普通の貯金をしているのと同じで、しかも定期ものと同じ高い利率がつくわけですから。六ヶ月たてばいつでも払いもどせます。六ヶ月以後は普通の貯金をしているのと同じで、しかも定期ものと同じ高い利率がつくわけですから。六ヶ月たてばいつでも払いもどせます。六ヶ月以後は普通の貯金をしているのと同じで、しかも定期ものと同じ高い利率がつくわけですから。

郵便貯金にはいっさい税金がかかりません。

厚意で実現できたのはうれしい。さっそく授業の面にとり入れるべく企画したが、十分に活用してよその学校にヒケをとらないようにやってゆきたい。

青年建設班 研修終わる

川西町青年建設班の解団式(九月十五日)が行われ、二カ月の研修を終えた青年たちが元気に巣立って行った。

七月十日に結団式をあげて以来、農業改良課をはじめ郡や町の関係者を講師に、農業センターで合宿研修が続けられていたもの。新農村の指導者に必要な一般教養のほか、測量の実習や機械器具

住民の理解と協力を

補導員として二カ月間、受講生と起居をともにした屋名四郎氏は次のように語っている。

部落や町のみならず、あたたかい心で受け入れてくれることによって、二カ月間の勉強が生かされることになるでしょう。

庁内めぐり (11)

国保衛生係の巻

【その二】

押木良作氏(田町)は筆者にとりなつかしい人。かつては教職に在ったし、仙田村青年団はなや

組合だまり「三十数種を読んで見ると、何となく食うようなものばかり多いことか。ホクトツな川西町民の、横顔のスケッチに代わるものとして「アンテナ」の復活を望むや切である。

(中仙田・へらす日)

答 当分は現状のまま

できるだけご期待に副えるように、あらゆる面から検討を重ねてみました。しかし、これ以上の連載ものを設けることは、B五版四ページという現在の規格からいって無理でした。

いずれ適当な時期に、新しい企画で復活することを考えてはおりますが、当分の間いまの紙面構成を続けてゆくつもりです。ご了承くださいます。

(編集部)

町の声

アンテナの復活を望む

とにかくおびたい活字のはん蓋である。ありきたりのことでは、不感症になつている現代人の注意を引くことはできない。したがって編集者も執筆者も「どうしたら読ませることができるか」ということとばかりに頭を悩ます。

印刷する以上、読んでもらわねばならぬ側としての苦心は、「広報かわにし」も大新聞社のそれと変わりがない。

目を通して「アンテナ」にいたったとき、わたしは編集者の有能に感服したものだ。役場の掲示板をかき出したぞと、見る間に、ヒラリと川西町の風俗写真に

の取り扱いなど、二カ月にわたって高度な知識技能を習得したが、この地域での進展には、これらの青年たちが中心的な役割を果たしてくれることにならう。

農閑期をねらって実施したのに受講者は思ったよりも少なく、また、災害などのため途中で欠けたりした班員があつたのは遺憾だったが、それだけに終始真剣な態度が見られたのはうれしかった。

住民の理解と協力を

補導員として二カ月間、受講生と起居をともにした屋名四郎氏は次のように語っている。

部落や町のみならず、あたたかい心で受け入れてくれることによって、二カ月間の勉強が生かされることになるでしょう。

置き替えて見せたのである。以来好きなおかずで食欲をそそってか飯にバクつくように、裏の「アンテナ」を見てから表の諸記事をみるのが例だったが、横着な読者はわたしたけでなく安外多いのを知って微笑したものである。

ところが第八号から、この「アンテナ」がよりのそかれてしまった。編集者が疲れたのではないかと心配でならない。もともと決まったテスクを持っている者が、本業の余暇にタルミなく編集を続けようとするのは、どだいムリな話なのである。町内にひとりかふたりの連絡員を置いたら、新鮮なネタも集められるだろうと思う。

紙面にユーモアとウエットのただよう印刷物は読まれ、そのなのは捨てられる。郡内県内の

かなりしころは中心的な役割を果たしてくれた人だ。オモテに立つことをきらいな世話役型の人となりかうらやましい。温泉めぐりの悪友だったこともある。

高橋重英氏(室島)はアバンのチャンピオンだった。「ほしがりません勝つまでは」のころ、やまと島根のなでしこがずいぶんあこがれたらしい。それだけに幾たびか死線を越えてきたこの人は、カドのない円満な人格者といえる子防衛生にとりくむ「仕事のオニ」といった感じがする。

田中清美さん(下原)は、うますたためます仕事に精出すというタイプで、働くことの中に魅力を感じさせてくれる女性。心身ともにふくよかなこの人は、女子職員のリダ格でもあるようだ。趣味は生け花。池の坊は信伝の腕前もっている。

大溪 紀さん(おたにのり)上町は職場のミス。「おとなしくやさしい」とはいっても、どこかに線の強さがある人だ。ひっそりと映画や読書にひたるのが趣味だといひ、あまりオシャベリはしない。日本人形を思わせるこの娘さんは、うれいがちな表情でときおり目を伏せることがある。

岩田トクさん(十日町)はフアイトのある保健婦。白衣姿のよくにあう人だ。若年ながら業務の全般に、昼夜をわかつた活躍ぶりを示してくれる。よく学びよく動くかの女は社会教育の協力者でもあり、根はやさしいキャンドルサーピスに徹している。

◎この係の職務分担任は、本紙の第五号に掲載してあります。



テレビに見入る子どもたち
仙田小学校にて 佐藤教諭撮影

出かせぎの道しるべ 求人がうわ回る現状

職安の經由が先決

出かせぎを十年続けた人は、先で五年間暮らしたに等しい。きわめてあたり前なことだが、見かたによっては軽視できないものが含まれている。とくにそれが青年の場合は、人格の形成面にも大きな影響を与える。働き先は慎重に決めなければならないだろう。

職業安定所の統計によれば、豊作の年には出かせぎ者が多いという。なぜその年なのかというキメ手はないが、食うにこと足りると「オレもひとつ東京へ…」という物見遊山的な欲求が起きているのはなめないようだ。さればとて、安易な考えで出かけたのではどうかえいのつかないことにもなるというもの。そこで、ことしの傾向や求人先にスポットをあてて、問題の幾つかをとりあげてみた。

見通しは明るい

就職希望者よりも、求人者の数がうわ回っているのが現状だ。したがって、縁故関係で小さな所に勤めるよりも、数ある求人者の中から希望の職種や条件のよい所を選ばれるわけ。これは求人者が多いだけに、恵まれた冬働きの多いのは喜ばしい。

ところが、出かせぎ者の約半数が安定所をトンネルにしている。とくに縁故就職の場合は、話し合いだけで出かけるので、万一のときに労災保険が適用されなかった

縁故就職でも 職安へ

「オラどこのアンニャは、〇〇の町の世話で東京サ行った」という話は毎年きかれる。何ともほおえましい風景ではあるが、この場合〇〇さんは、①だれとだれを、②どんな条件で③どこに世話した

ある女教師の手紙

豊作だという年は、不作の年よりお金集めがせつなくありません。天候に左右される農業生産が、技術の助けで一定量を確保できるよ術になると、豊作貧乏の心配がなくなるといえます。でも、ここ当分は米作り農業にひとい波はこないだろうとの話。山村の先生たるもの「ハローニカ買わせようかな」とか、「辞書くらゐ一冊ずつ持たせたい」とか考え出すものです。

教育漢字も八百字ですから、た

ということとを、ひとこととよいから十日町公共職業安定所に連絡してほしい。(人をあつせんするには、必ず職安を通さねばならぬ)

東京の求人状況

静岡と神奈川の両県で、ミカンもぎの労働者を募集している。この町にも十六人(男十一・女五)の割り当てがきているが、食事付(月額)で男子六千五百円、女子五千五百円、往復の旅費を支給するのが普通だ。出発は二十八日ごろの予定だが、二十日までたがらうと、必要なことは、強制されても学ばせられたほうがありがたいという村のMさんの話

「おれ、社会に出てから勉強する気になったんですよ。ところが金と暇がないのでね。学校にいたときはなまけ放題で、ほんとにもったいないことをしたな。先生って者は、もったときびしいほうがいいと思ひますよ。」

「ではビシビシ教えますよ。」

「なんぞと早がんでできません。教育は、強制することには違いないけれど、何が必要なのか、血となり肉となる学習をよく押し見せわめないと、あやまちの多い教育になってしまいます。」

文部省は、学習指導要領を次々と変えてきて、ことしは大々的な変更の通知を出しました。

ミカンもぎはいかが

東京方面からもたくさん求人かましているが、この中には町出身の成功者がめだっている。一覧表によると、女中、店員、出前持ち、縫製工、運転手、食品関係、配達、雑役などが多く、本人の希望なら永年勤続も可能という所もある。

給与は年令や経験に応じて、月額(手取り)最高一万円から最低三千五百円まで、日給制(平均して三百円程度)のところもかなりある。いずれも往復の旅費を支給するほか、保障制度が完備で週休制のところが多い。詳細は社(会)係(南雲直秀氏)あてに問い合わせたい。

ふるさと

七月災害以来約三カ月ぶりで旧県道仁田橋の復旧が成った。次には県道の本工事であるが、おそろしくことし中には完了しないという△新潟県の道路が悪いことは伝統的・宿命的であること、いつも隣りの長野県との対照において聞かされてきたものだが、信州から来るりんと屋敷の話によると、近ごろは少しく事情が違うらしい。「新潟県の道路整備はすばらしい。舗装しない所でも五・六十キロも平気で出せるという状態は、長野県ではとうてい見られない」と。おまけに「県境を越えたたんに路面が一変する」という点までが、われわれの持っている観念をそっくり裏返しにしたものであったのに、あ然とした▲さういえば、たしかに最近の県道特に川西線は、昔のおもかげを一変したようだ。これまでにした関係者の苦心を知らずに、他県人に指摘されてはじめて気づいたということは、はなはだ申しわけないことである▲しかし、統計的にはまだ新潟県の道路整備は、慎重に衆知を集めて、国民の補償にしても、改良にしても遅れたということでは全国でも屈指だね。親しよ▲お上任せでなく、子どもめんとおをみて、しつけをする親しよでないかと親づからをす。先生任せは危険です。

S夫君がこう書いています。「秋は、それにあさむしく、どんな災害にも耐えられるわしく、かりした基礎がなければならぬ▲あの七月の豪雨で町の交通が寸断されたとき、不便・不つこは、お互い骨身をこたえているが、ああいふことは再び繰り返したくない。(M)

かわにし 俳壇 金山 柏樹 選

- 越ヶ沢 辰治
- 草に鳴く虫しすまれる夜雨かな
- 大倉 洋石
- 分校の鐘澄み朝の霧晴る
- 小白倉 基
- 西日中色あざやかに葉鶏頭
- 小白倉 凡石
- 笑み栗の落ちんとして川の上
- 元町 鉄平
- いささかの稲干してある温泉町
- 中仙田 遊人
- 掃き寄せしカンナの花や秋深む
- 俳句も詩です。ふう詠です。内容に詠嘆がなければなりません。説明ではいけません。しかもすっきりしたものを選びます。(柏樹)

後記

◎町外在住者(川西町出身)で、本紙を購読される方が多くなってきました。うれしいことです。

◎知人あてに郵送の場合は二つ折りにし、八センチ以上の封筒を巻いてください。第十号以降の送料は、百グラムまで四円となっています。

◎読書の秋です。うんと教養を身につけましょう。本読む楽しさは夜の長さを忘れさせます。

◎箱刈りが終わってヤレヤレ、ほんのりと苦勞なことでした。祭りはやしのきこえるころは、わびしい季節でもあります。

旅人の袖ふきかへす秋風に
夕日さびしき山のかけ橋
(新古今集)